

A. ファイザー社が、ワクチンの治験において、除外した基準

(誤れる現代医学; 第二版: 2021年6月28日発行より引用)

- ① 新型コロナウイルス感染症/COVID19の病歴あり。
- ② 免疫抑制剤(抗がん剤、副腎皮質ホルモン等)による治療例。
- ③ 免疫異常の病歴(自己免疫疾患等)。

除外疾患例

アナフィラキシー、喘息、重症筋無力症、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、バセドウ氏病、橋本病などの甲状腺疾患、間質性肺炎、IgA腎症、クローン病、潰瘍性大腸炎など、慢性疾患はほとんど除外対象になる。

⇒ 接種する必要がない

B. 2023年秋スタートする”次世代mRNAワクチン(治験)”

- ① 日本が先駆けて、治験をする。
- ② スパイク蛋白(血栓を起こす)が、永遠に作られて、中止できない構造。
- ③ mRNAを作る型枠の大量のDNA混入問題(発がん遺伝子の存在)が残っている。

⇒

毒
ワクチン

↓

今度こそ、死にます。